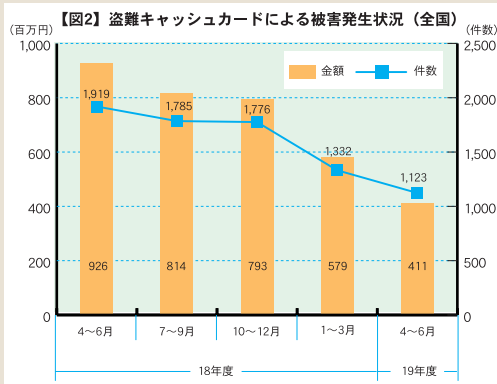
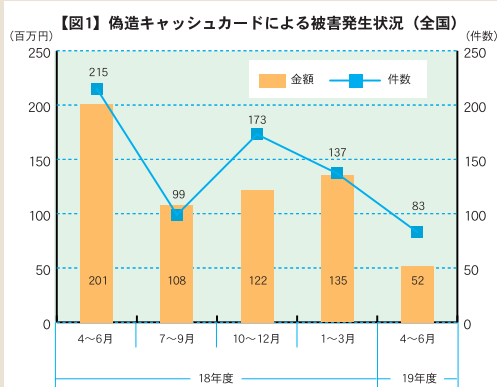


# なかゆくい nakayukui

シリーズ 4

## ～気をつけよう! キャッシュカードの管理～

財務部金融監督課



【表1】盗難キャッシュカードによる被害発生状況（県内）

	計	
	件数	金額(千円)
18年度	9	5,437
4～6月	—	—
7～9月	2	1,015
10～11月	—	—
1～3月	7	4,422
19年度	1	48
4～6月	1	48
計	10	5,485

出所：当局管内金融機関からの報告

### I 最近の被害発生状況

金融庁では、こうした偽造キャッシュカード犯罪、盗難キャッシュカード犯罪等による預金等の不正払戻し等の被害について、各金融機関からの報告を基に被害発生状況等

知らない間に、あなたの預金がなくなっていたら、どうしますか？  
近年、不正に取得したキャッシュカードや、偽造したカードを用いて、現金自動預入支払機（ＡＴＭ）から預貯金が引き出される被害が多数発生しています。

### II 沖縄県内の状況

沖縄県内においても、平成18年度以降10件（被害金額：約5百万円）の盗難キャッシュカードによる被害（表1参照）がみられるほか、これ以前に

を取りまとめ、定期的に公表しています（詳細は金融庁ホームページ [www.fsa.go.jp](http://www.fsa.go.jp) をご覧ください）。  
平成19年9月に取りまとめ・公表された結果（全国版）をみると、依然として、偽造・盗難キャッシュカード犯罪が多数発生（図1・2参照）しています。

### III 預金者保護法とは？

このように偽造カード等を用いて現金自動預入支払機（ＡＴＭ）から預貯金が引き出される被害が多数発生していることから、これらの不正な払戻し等から預貯金者を保護することを目的として、平成18年2月10日より、預金者保護法（正式には「偽造カード等及び盗難カード等を用いて行われる不正な機械式預貯金払戻し等からの預貯金者の保護

等に関する法律」といいます）が施行されています。  
この法律により、偽造キャッシュカードによる被害は、預貯金者に故意又は重過失がなければ被害額の全額が補償されることになりました。

また、盗難キャッシュカードによる被害については、  
① 金融機関への速やかな通知（30日以内）、  
② 金融機関への十分な説明、  
③ 警察署・交番への届出、  
この要件を満たした場合に被害額の全額が補償されます。

（但し、預貯金者に過失がある場合には補償額が被害額の4分の3に減額されるほか、故意又は重過失がある場合には補償されません。）  
盗難通帳により窓口で引き出された場合は、預金者保護法の対象外となっているので、万が一の盗難に備え、通帳と口座開設時に使用した印鑑は別々に保管するなど、注意が必要です。





# nakayuki

## IV 被害にあわないために

預金者保護法により、偽造・盗難キャッシュカード被害にあわれた方々のうち、相当数の方が金融機関から補償を受けている一方で、預貯金者に過失があった場合など主たるケースで100%の補償が受けられるとは限りません。

被害を未然に防止するためにも、預貯金者の皆様においては、キャッシュカードの管理を厳格に行うとともに、類推されにくい暗証番号を設定するなど、十分に注意してください。

また、金融機関においては、被害額を抑えるための手段として利用限度額の変更を受け付けたり、最近では、従来の磁気ストライプ型よりも安全性が高いと考えられるICキャッシュカードを発行する県内金融機関もありますので、これら金融機関のサービスも上手に活用してください。



## 偽造・盗難キャッシュカードのトラブル

不正に取得したり、偽造したキャッシュカードを用いて、現金自動預入支払機(ATM)から預貯金が引き出される被害が多数発生しています。

### 偽造・盗難キャッシュカードの被害にあわないための注意点

#### 暗証番号について

- 他人に暗証番号を教えない。
- 暗証番号をキャッシュカードに記入しない。
- 生年月日、電話番号、車のナンバーなど他人に推察されやすい番号を使用しない。
- ゴルフ場やサウナ等のロッカーの番号に暗証番号を使用しない。
- ATMの操作中、暗証番号を覗き見されないよう不審者に注意する。

#### キャッシュカード管理について

- キャッシュカードは携帯し、紛失していないかこまめに確認する。
- 他人にキャッシュカードを安易に渡さない。
- 不必要に多くのキャッシュカードを保有しない。
- 長期間利用していない古いキャッシュカードは、安全性に問題がある場合があるので、取扱い金融機関に相談する。

#### 口座管理について

- こまめに残高照会や記帳をする。
- 不必要に多額の現金を普通口座に置かない。

### もし、キャッシュカードがないことに気付いたら・・・

すぐに取引している金融機関に届け出てください。空き巣や車上ねらいの被害にあった場合で、キャッシュカードが盗まれていなくても、スキミングにより磁気データがコピーされている可能性があるため、念のため金融機関に届け出てください。また、警察にも届け出てください。